

環境調査結果のお知らせ

平成30年9月27日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は22.7~25.7°Cで、前回調査時(H30.8.30)と比較して全層で2.0~6.7°C下降していました。

塩分は15.5~30.7で、前回調査時と比較して全層で0.5~4.3上昇していました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は4.5~6.6mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層で1.8~2.5mg/l減少し、2m層で0.1mg/l増加していました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.8mでした。

検鏡の結果、魚類に有害なプランクトンは確認されませんでした。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(°C)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.8.30)	
			差(今回-前回)
0m	22.7	29.4	▲ 6.7
1m	24.7	29.2	▲ 4.5
2m	25.7	27.9	▲ 2.2
B-1	25.7	27.7	▲ 2.0

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.8.30)	
			差(今回-前回)
0m	15.5	12.9	2.6
1m	21.8	17.5	4.3
2m	30.0	29.1	0.9
B-1	30.7	30.2	0.5

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(H30.8.30)	
			差(今回-前回)
0m	6.6	9.1	▲ 2.5
1m	5.3	7.1	▲ 1.8
2m	4.7	4.6	0.1
B-1	4.5	4.5	0.0



表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	3.6	3.8
透明度	2.8	2.0

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・トリエステナム	アカシオ・サングイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0	200
1	0	0	0	0	100
2	0	0	0	0	20

漁業被害が想定される細胞密度  
 ・ヘテロシグマ・アカシオ:  
 10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>